職務経歴書

フリガナ													
氏　名	M.K			性別	男	現年齢	54	歳	1970 年 9 月 18 日				
最寄駅	JR 線	横浜 駅				徒歩	15 分	バス	－ 分				
業務知識	通信、製造												
英語能力	TOEIC	－ 点	英検	－ 級	英語力（○ △ ×）	ビジネス	×	トラベル	×	資料作成	×	資料読解	△
保有資格	－												
自己PR	サーバ・ネットワークのインフラに長年携わっており、この分野においては経験豊富です。 また、リーダーとしてプロジェクトを推進する立場も多く経験しており、他チームとの調整なども積極的にコミュニケーションを進めておりました。特に他チームからの要望をそのまま受け入れるのでは無く、何故それが必要なのかを理解した上で、必要であればより良い方式の提案など積極的に行ってきました。 人材育成面では若手メンバーと積極的にコミュニケーションを取ることで、若手メンバーから報告・連絡・相談などをし易い環境を作ることで育成面でも貢献してきた。												
開発系担当フェーズ	1. 調査分析　2.要件定義　3.基本（外部）設計　4.詳細（内部）設計　5.製造　6.テスト　7.実装　8.運用保守												
インフラ系担当フェーズ	A. 調査分析　B.要件定義　C.基本設計　D.詳細設計　E.構築　F.テスト　G.実装　H.運用保守												

	期間			
1	2020年8月 ～ 2024年4月 3年9ヶ月	**コンサルティング業務に関連したITサポート** 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 コンサルティング業務において必要となるIT関連のサポートとシステム運用 〈システム概要〉 ・AWS EC2にインストールしたTableau Serverを中心にしたデータ分析システム ・AWS Rekogtionを利用した身分証明書の顔写真の照合 ・Windows Server、SQL ServerのEOL対応 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 ITインフラのEOLや脆弱性の対応などを担当することで、業務部門の社員に業務に専念できる環境を維持した。	HNWW	・AWS (CloudWatch,VPC,Lambda,EC2,RDS,S3,ELB,WAF,CloudFront,ACM,Rekognition,SageMaker)
			OSSW	・Windows Server 2012～2019 ・CentOS 7 ・Tableau Server
			言語	－
			DB	・SQL Server ・Amazon Aurora(PostgreSQL)
	ポジション			
	メンバー			
	全体規模/チーム規模			
	50 人 / 4 人			
	担当フェーズ			
	C,D,E,F,G,H			

	期間			
2	2018年2月 ～ 2020年3月 2年2ヶ月	**製造業業務システムのサーバ運用保守** 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 業務システムの安定運用 〈システム概要〉 オンプレミスのVMWare環境とクラウドとしてAWSを利用しており、仮想マシンとインスタンスの総数が500台程度あり、サーバOSはWindowsとLinuxが7:3の割合で使用していた。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 エンドユーザ様からは新規システム構築やサーバの増強を中心のご依頼が多かったが、それだけではなく既存システムの安定運用を意識することで無駄な工数の発生を抑えた。	HNWW	・AWS (主にEC2,RDS,ELB,CloudFront,ACM) ・NetApp
			OSSW	・Windows Server 2008～2019 ・CentOS 5～7 ・VMWare vSphere 5
			言語	－
			DB	－
	ポジション			
	リーダー			
	全体規模/チーム規模			
	100 人 / 2 人			
	担当フェーズ			
	D,EmF,G,H			

3	期間 2016年7月 ～ 2017年10月 1年4ヶ月 ポジション リーダー 全体規模/チーム規模 150 人 / 18 人 担当フェーズ B,C,G,H	生保業務システムのストレージ運用保守 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 業務システムの安定運用と機器(NetApp、DataDomain)のEOSL対応。 〈システム概要〉 ・SANストレージ ・ファイル共有用NAS(EOSL対応実施) ・VMware用のデータストアNAS ・バックアップ用仮想テープストレージ(EOSL対応実施) ・データアーカイブ用ストレージ 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 ファイル共有用NAS及び仮想テープストレージのEOSL対応に関して、移行方式の提案・設計及びストレージベンダーのコントロールを担当して、ストレージ起因によるプロジェクトの遅延を起こさなかった。 またリーダーとしてインフラシステム全体を見通し、サブチーム間の連携不足を補った。	H N W W	・EMC製ストレージ(CX4、VNX、DataDomain、Centera) ・EMC製FCスイッチ(Cisco OEM) ・NetApp製ストレージ(FAS)
			O S S W	・Solaris10 ・RHEL5 ・Windows2008R2 ・Windwos 2012R2 ・NetBackup ・VMware vSphere
			言 語	–
			D B	・Oracle10g ・SQL Server
4	期間 2015年7月 ～ 2016年6月 0年12ヶ月 ポジション サブリーダー 全体規模/チーム規模 150 人 / 18 人 担当フェーズ B,C,G,H	生保業務システムのストレージ運用保守 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 業務システムの安定運用と機器(CX4)、OS(Windows 2003)のEOSL対応。 〈システム概要〉 ・SANストレージ(EOSL対応実施) ・ファイル共有用NAS ・VMware用のデータストアNAS ・バックアップ用仮想テープストレージ ・データアーカイブ用ストレージ 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 SANストレージのEOSL対応に関して、新規構築及び初回のサーバ移行はベンダーまでをベンダー作業とし、2回目以降は運用側で実施することによるコストダウンを図った。	H N W W	・EMC製ストレージ(CX4、VNX、DataDomain、Centera) ・EMC製FCスイッチ(Cisco OEM) ・NetApp製ストレージ(FAS)
			O S S W	・Solaris10 ・RHEL5 ・Windows2008R2 ・Windwos 2012R2 ・NetBackup ・VMware vSphere
			言 語	–
			D B	・Oracle10g ・SQL Server
5	期間 2014年9月 ～ 2015年6月 0年10ヶ月 ポジション メンバー 全体規模/チーム規模 150 人 / 18 人 担当フェーズ B,C,G,H	生保業務システムのストレージ運用保守 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 業務システムの安定運用と機器のEOSL対応(MDS)及び経営統合対応。 〈システム概要〉 ・SANストレージ ・SAN用FCスイッチ(EOSL対応実施) ・ファイル共有用NAS(Active Directory移行対応実施) ・VMware用のデータストアNAS ・バックアップ用仮想テープストレージ ・データアーカイブ用ストレージ 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 プロジェクト参画時に構成管理用のドキュメントに誤りが多数存在していることが判明したため、全調査を行い最新化を実施。 上記を行ったことにより、FCスイッチのEOSL対応及び、経営統合によるActive Drectoryの移行に関するストレージ部分の構成変更を問題なく実施完了した。	H N W W	・EMC製ストレージ(CX4、DataDomain、Centera) ・EMC製FCスイッチ(Cisco OEM) ・NetApp製ストレージ(FAS)
			O S S W	・Solaris10 ・RHEL5 ・Windows2008R2 ・NetBackup ・VMware vSphere
			言 語	–
			D B	・Oracle10g ・SQL Server

6	期間 2012年11月 ～ 2013年3月 0年5ヶ月 ポジション リーダー 全体規模/チーム規模 50 人 / 7 人 担当フェーズ A,B,C,D,E,F	**製造系企業公式WebサイトのDBサーバのストレージ増強** 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 製造系企業の公式webサイトの将来的な機能追加を見据えた、DBサーバ用NASストレージのリソース(HDD)増強。 〈システム概要〉 IAサーバ2台(Linux)とNetApp社製NAS専用機によるOracleRAC構成。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 ストレージに関する既存ドキュメントの記載が不十分であったため、マニュアル及び機器の設定情報を参照して不明点はベンダーに確認する等の事前準備を行い、問題無く本プロジェクトを完了した。	H N W W	・NetApp製ストレージ(FAS)
			O S S W	・RHEL5.3
			言 語	–
			D B	・Oracle11g
7	期間 2012年4月 ～ 2012年10月 0年7ヶ月 ポジション メンバー 全体規模/チーム規模 3 人 / 2 人 担当フェーズ D,E,F,G	**金融系企業Web端末更改** 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 金融系企業のweb端末環境の老朽化対策として、最新のHW・SWに移行を行う。 〈システム概要〉 現行システムのWindows2003R2サーバx3及びWindows XP端末x15をWindows2008R2x3及びWindows 7x15へ移行。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 VMware上に試験環境を構築し、ファイルサーバ及びActive Directoryの移行手順の確認を実施し、問題無くプロジェクトを完了した。	H N W W	・富士通製IAサーバ ・富士通製PC
			O S S W	・Windows2003R2 ・Windows2008R2 ・Windows XP ・Windows 7 ・ArcServe ・ActiveDirectory
			言 語	–
			D B	–
8	期間 2012年2月 ～ 2012年3月 0年2ヶ月 ポジション メンバー 全体規模/チーム規模 – 人 / 7 人 担当フェーズ C,D	**製造系企業基幹系システム更改** 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 製造系企業の基幹システムの老朽化に伴う新HWへの移行。 〈システム概要〉 SUN社製サーバで稼働しているSAP社製ERP環境を日立製サーバへの移行及びミドルウェア・ツールの更新。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 OSが変更されることによるシステム影響を調査し、その対応案を提示した。	H N W W	・日立製UNIXサーバ
			O S S W	・AIX7.1 ・PowerHA ・シェルスクリプト
			言 語	・bsh
			D B	–
9	期間 2011年8月 ～ 2011年11月 0年4ヶ月 ポジション サブリーダー 全体規模/チーム規模 – 人 / 5 人 担当フェーズ C,D,E,F,G	**製薬会社向け実消化クラウドサービス立ち上げ** 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 製薬会社向け実消化クラウドサービスの提供 〈システム概要〉 NEC提供のクラウドシステム上にOSSを中心としたWeb/アプリ/DBの3階層による構成。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 マルチユーザを考慮した設計となっていなかったために基本設計の見直しを行い、マルチユーザ対応を可能とした。	H N W W	–
			O S S W	・RHEL5.3 ・Apache httpd ・Tomcat ・SiteShell ・Squid
			言 語	–
			D B	・PostgreSQL

10	期間 2010年6月 ～ 2011年5月 0年12ヶ月 ポジション サブリーダー 全体規模/チーム規模 － 人 / 5 人 担当フェーズ H	携帯電話会社向けIP交換機のサポート 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 携帯電話のIP交換器のOS、ミドルウェアのサポート。 〈システム概要〉 アプリケーション開発部門に常駐して担当者からのQAや障害発生時の一次対応及びOS、ミドルウェア開発部門へのエスカレーション。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 アプリケーション開発拠点に常駐したいたことから、開発担当者と密にコミュニケーションを取り、求められるいるモノに則した回答を行った。	HNWW	・富士通製ブレードサーバ
			OSSW	・CGLinux ・NGN基本ミドルウェア ・ETERNUSマルチパスドライバ
			言語	－
			DB	－
11	期間 2009年4月 ～ 2010年4月 1年1ヶ月 ポジション メンバー 全体規模/チーム規模 200 人 / 10 人 担当フェーズ D,E,F,G	リース会社合併に伴う基幹システム統合 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 企業合併に伴う基幹システムの統合。 〈システム概要〉 フロントエンドをXenAppによる仮想化環境を使用し、バックエンドをUNIXサーバによるAP/DBサーバ構成。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 システム全体を俯瞰して見られるよう両社の設計を熟読し、統合にあたり問題になりそうな点を事前に把握・対処を行うことで、大きな問題無くプロジェクトを完了した。	HNWW	・富士通製UNIXサーバ ・富士通製ブレードサーバ ・富士通製L7スイッチ ・NetApp製NAS専用機 ・富士通製SANストレージ
			OSSW	・Solaris10 ・Windows2003R2 ・Systemwalker ・NetBackup ・ArcServe ・XenApp
			言語	・csh
			DB	・Oracle10g
12	期間 2008年12月 ～ 2009年3月 0年4ヶ月 ポジション リーダー 全体規模/チーム規模 10 人 / 4 人 担当フェーズ C,D,E,F,G	製造系企業のメール中継システムの更改 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 MTAの統一による保守性の向上。 〈システム概要〉 約20台からなるサーバにてsendmailを使用したメール中継システム。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 sendmailの設定ファイルをm4マクロを使用したものとし、保守性の向上を図った。	HNWW	－
			OSSW	・sendmail
			言語	－
			DB	－
13	期間 2008年5月 ～ 2008年7月 0年3ヶ月 ポジション リーダー 全体規模/チーム規模 10 人 / 4 人 担当フェーズ A	製造系企業のメール中継システム調査 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 設計書が無いために運用・保守が困難なシステムの調査及び設計書の作成。 〈システム概要〉 約20台からなるサーバにてsendmail,qmailを使用したメール中継システム。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 sendmailの設定ファイルはマクロであることから読み解くことが困難であったが、検証環境を作ることにより解析を行った。	HNWW	－
			OSSW	・sendmail ・qmail
			言語	－
			DB	－
14	期間 2008年3月 ～ 2008年4月 0年2ヶ月 ポジション リーダー 全体規模/チーム規模 10 人 / 2 人 担当フェーズ D,E,F,G	金融系企業の社内DNS、プロキシサーバ更改 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 保守切れに伴うハードウェアのリプレースとミドルウェアのバージョン更新。 〈システム概要〉 社内端末用のDNS兼プロキシサーバのコールドスタンバイ構成。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 プロキシサーバのログ領域の枯渇対策や、HDDの二重化による対障害性の向上を図った。	HNWW	SUN社製UNIXサーバ
			OSSW	Solaris10 BIND squid
			言語	－
			DB	－

15	期間 2007年5月 ～ 2008年3月 0年11ヶ月 ポジション リーダー 全体規模/チーム規模 － 人 / 3 人 担当フェーズ H	通信系企業の回線管理システム保守 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 通信キャリア回線管理システムの保守 〈システム概要〉 Web/AP/DBの3階層構造でWebとDBはHA構成となっている。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 引き継いだ設計書が、ミドルウェアの設定ファイルが転機されているだけなど設定書の体をなして居なかったことから、設計書を見直しを図って保守性の向上を図った	H N W W	SunFire ServerIron
			O S S W	Solaris8 Apache HTTPD WebLogic
			言 語	－
			D B	Oracle8i
16	期間 2007年11月 ～ 2008年4月 0年6ヶ月 ポジション サブリーダー 全体規模/チーム規模 － 人 / 7 人 担当フェーズ D,E,F,G	携帯電話会社のショートメールシステム更改 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 携帯電話メールシステムの老朽化に伴うシステムリプレース。 〈システム概要〉 NASストレージ(8台)にメールを格納し、フロントエンドのサーバ(16台)にて共有して送受信する。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 チーム内にSolaris,NetAppの有識者が居なかったことから、知識の共有を図ることでメンバーのスキルアップを促し、大きな問題無くプロジェクトを完了した。	H N W W	NetApp製NASストレージ 富士通製UNIXサーバ
			O S S W	Solaris10 PRIMECLUSTER
			言 語	－
			D B	－
17	期間 2007年7月 ～ 2007年10月 0年4ヶ月 ポジション メンバー 全体規模/チーム規模 － 人 / 6 人 担当フェーズ F,G	製造系企業の基幹システム更改 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 老朽化した富士通製オフコンからIBM製オフコンへのリプレース。 〈システム概要〉 詳細不明 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 未経験のCOBOLを扱ったが、有識者に積極的に質問するなどして知識を高め、最終的には他メンバーと同等の業務をこなした。	H N W W	－
			O S S W	AS400
			言 語	COBOL
			D B	－
18	期間 2002年12月 ～ 2005年6月 2年7ヶ月 ポジション メンバー 全体規模/チーム規模 30 人 / 3 人 担当フェーズ B,C,D,E,F,G,H	通信系企業のネットワーク構築・保守 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 ISPのネットワーク構築・保守 〈システム概要〉 約200台のネットワーク機器の保守及び毎月のネットワーク機器の構築。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 ネットワーク構成の標準化プロジェクトの中心として活動し、設計やベンダー発注の効率化を図った。	H N W W	・Cisco ・Foundly ・F5 ・ノーテル
			O S S W	－
			言 語	－
			D B	－
19	期間 2001年4月 ～ 2002年11月 1年8ヶ月 ポジション メンバー 全体規模/チーム規模 30 人 / 5 人 担当フェーズ B	通信系企業のサーバ増設計画立案 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 ISPの新規サービス及び既存サービスの増強に伴うサーバ増設計画の作成・管理 〈システム概要〉 サービス企画部門及び開発部門の計画に沿ったサーバの増設計画の作成及び進捗管理を実施。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 サーバ導入構築経験を生かし、開発担当者と事前に調整することで、期初の見込みと実績の差を最小限に留めた。	H N W W	－
			O S S W	－
			言 語	－
			D B	－
20	期間 2000年7月 ～ 2001年3月 0年9ヶ月 ポジション リーダー 全体規模/チーム規模 7 人 / 3 人 担当フェーズ A,B,C,D,E,F,G	通信系企業の個人HPサービスのシステム移行 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 個人向けホームページシステムの老朽化に伴う新規システムへの移行 〈システム概要〉 データ移行に関して、EMCのマイグレーションサービスを使用することで、稼働中のデータ移行を行った。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 リーダーとして全体的な進捗管理や問題発生時の対応・報告など行い、予定通りのリリースを実現した。	H N W W	・富士通製Unixサーバ ・EMC製NASストレージ
			O S S W	・Solaris8
			言 語	－
			D B	・Oracle8i

21	期間 2000年4月 ～ 2000年6月 0年3ヶ月 ポジション メンバー 全体規模/チーム規模 30 人 / 5 人 担当フェーズ D,E,F,G	**製造系企業のポータルサイトのサーバインフラ構築** <参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 製造系企業ポータルサイトのホスティングに伴うサーバ構築。 <システム概要> 約15台のWebサーバをHA構成のUnixサーバのストレージをNFSで共有するシステムを基本とし、認証サーバもHA構成となっている。 <自分がプロジェクトに参画した事による貢献点> 短納期での対応が必要となったことから、ドキュメントは最小限としてソフトウェアマニュアルを参照しながらの構築となったが、大きな問題無く納期内に納品した。	HNWW	・富士通製Unixサーバ
			OSSW	・Solaris2.6 ・SafeCLUSTER(クラスタリングソフト) ・SafeDISK(ボリュームマネージャ)
			言語	－
			DB	・Oracle8
22	期間 1999年6月 ～ 1999年12月 0年7ヶ月 ポジション 全体規模/チーム規模 50 人 / 5 人 担当フェーズ D,E,F,G	**ISP統合に伴う基幹サービスのシステム統合** <参画したプロジェクトのビジネス上の目的> ISP統合に伴う認証、メール及び個人HPシステムの統合。 <システム概要> ISP統合に併せて新規ホームページシステム、認証システム及びメールシステムを構築。 ホームページシステムは、従来のホームページシステムと基本設計と同等とし、NASストレージのみEMC製へ変更。 認証システムは、HA構成の認証マスターサーバと7台のレプリカサーバの構成。 メールシステムはHA構成メールボックスサーバ4システムと10台のメール送受信サーバの構成。 <自分がプロジェクトに参画した事による貢献点> OS部分に関して担当者と調整を行い、必要最小限のパッケージ構成での導入とした。	HNWW	・富士通製Unixサーバ ・EMC製NASストレージ
			OSSW	・Solaris2.6 ・SafeDISK(ボリュームマネージャ)
			言語	－
			DB	－
23	期間 1998年7月 ～ 1998年12月 0年6ヶ月 ポジション 全体規模/チーム規模 8 人 / 4 人 担当フェーズ D,E,F,G,H	**通信系企業の個人向けHPサービスの構築** <参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 個人向けのお客様向けにホームページサービスの提供。 <システム概要> 約15台のWebサーバが、コンテンツを持つNASストレージをNFSで共有するシステム。 <自分がプロジェクトに参画した事による貢献点> Auxpex独特の技術要素を習得し、詳細設計～運用保守まで大きな問題なく行った。	HNWW	・SUN製Unixサーバ ・Auxpex製NASストレージ
			OSSW	・Solaris2.5.1
			言語	－
			DB	－
24	期間 1998年4月 ～ 1998年6月 0年3ヶ月 ポジション 全体規模/チーム規模 20 人 / 4 人 担当フェーズ D,E,F,G	**通信系企業のサーバ高信頼化** <参画したプロジェクトのビジネス上の目的> パソコン通信システムのサーバをクラスタ化することで、障害発生時のダウンタイムを短縮する。 <システム概要> アクティブ/スタンバイのHA構成。 <自分がプロジェクトに参画した事による貢献点> ベンダと調整の上、詳細設計及び実装、テストを担当し、基本設計通りの動作となることを確認した。	HNWW	・富士通製Unixサーバ
			OSSW	・UXP/DS(Unix OS) ・LVCF(ボリュームマネージャ) ・ADCF(クラスタリングソフト)
			言語	－
			DB	－
25	期間 1997年10月 ～ 1998年3月 0年6ヶ月 ポジション 全体規模/チーム規模 20 人 / 4 人 担当フェーズ D	**通信系企業のデータバックアップシステムの更新** <参画したプロジェクトのビジネス上の目的> パソコン通信システムのデータバックアップ時間の高速化。 <システム概要> 従来のテープバックアップが長時間掛かることから、ディスクtoディスクのバックアップとし、バックアップ時間の短縮する。 <自分がプロジェクトに参画した事による貢献点> LVCFの有識者としてバックアップツールのプロトタイプを作成してベンダーに提供し、本番用ツールの作成を作成期間の短縮を図った。	HNWW	・富士通製Unixサーバ
			OSSW	・UXP/DS(Unix OS) ・LVCF(ボリュームマネージャ)
			言語	・bsh
			DB	－

26	期間 1997年4月 ～ 1997年9月 0年6ヶ月 ポジション 全体規模/チーム規模 20 人 / 4 人 担当フェーズ D,G	通信系企業の第二DCの運用設計 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 パソコン通信システムの第二DC導入による継続的な機器導入の実現。 〈システム概要〉 東京DCがスペース上の都合から機器導入の限界が近づいたため、群馬DCを使用することで継続した機器導入を可能とする。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 現地CEとの調整の上、機器導入及び保守に関する運用設計を行い、極力サーバ構築・保守担当者のDC出張を無くすよう図った。	HNWW	・富士通製Unixサーバ
			OSSW	・UXP/DS(UNIX OS)
			言語	－
			DB	－
27	期間 1996年4月 ～ 1997年3月 0年12ヶ月 ポジション 全体規模/チーム規模 人 / 人 担当フェーズ	通信系企業のサーバ工場インストールの実現 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 パソコン通信システムのサーバを工場出荷時にインストール及び設定を行うことによる納期短縮。 〈システム概要〉 基本設定が完了しているインストール用HDDを新規サーバにコピーの上、設定ツールによるホスト名・IPアドレスの設定を実施して納入後の設定作業を最小限とする。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 工場の担当者の作業を、ツールを使用することで最小限とすることで、運用開始後の問い合わせなどを削減した。	HNWW	・富士通製Unixサーバ
			OSSW	
			言語	
			DB	
28	期間 1995年4月 ～ 1996年3月 0年12ヶ月 ポジション 全体規模/チーム規模 20 人 / 4 人 担当フェーズ A,D,E,F,G	通信系企業の新サーバ導入検証 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 パソコン通信システムで使用していたサーバの販売中止に伴う新機種の導入検証。 〈システム概要〉 従来のSX/Aを搭載したサーバが販売中止となることから、新機種であるUXP/DSの導入検証を実施。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 SX/AからUXP/DSに変わることによる影響範囲を事前に検証を行い、実導入に際しての影響を最小限とした。	HNWW	・富士通製Unixサーバ
			OSSW	・UXP/DS
			言語	－
			DB	－
29	期間 1994年5月 ～ 2001年3月 6年11ヶ月 ポジション メンバー 全体規模/チーム規模 20 人 / 5 人 担当フェーズ C,D,E,F,G,H	通信系企業のサーバ構築・保守 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 パソコン通信システムのサーバ構築・保守。 〈システム概要〉 配属当初は約100台のサーバにより構成されたシステムで、ユーザのログインを受け付けるフロントエンドサーバと、サービス及び会員管理を行うバックエンドサーバの2段構成。離任時には約500台のサーバ構成となっていた。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 サーバ構築・保守に関する技術面、実務面に関して中心的な役割を果たした。	HNWW	・富士通製Unixサーバ
			OSSW	・SX/A(Unix OS) ・UXP/DS(Unix OS)
			言語	・bsh
			DB	－
30	期間 1992年4月 ～ 1994年4月 2年1ヶ月 ポジション メンバー 全体規模/チーム規模 15 人 / 10 人 担当フェーズ H	通信系企業のシステム監視・保守オペレータ 〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 パソコン通信システムの24時間/365日運用・監視を行うことによる、障害の早期発見。 〈システム概要〉 配属当初は約50台のサーバにより構成されたシステムで、ユーザのログインを受け付けるフロントエンドサーバと、サービス及び会員管理を行うバックエンドサーバの2段構成。 〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 夜間バッチ処理の自動化及び、障害発生時のログ収集ツールの作成など、運用・監視の効率化を図った。	HNWW	・富士通製Unixサーバ
			OSSW	・SX/A(Unix OS)
			言語	・bsh
			DB	－